

2018年度第二回日内連主催講演会

講演会テーマ： “CIMAC WG「燃料」の最新情報”と
“SMM ハンブルグ国際海事展にみる、船用機器の最新技術”
— 船舶の環境規制（燃料・NOx・GHG等）対応最新技術 —

開催日：2018年12月20日（木）
場所：笹川記念会館 4階 第1・第2会議室

講演プログラム

講演題目(時間)	講演者(敬称略)
開会の辞(09:15~09:20)	日内連
1. CIMAC 関連情報 (09:20~10:00)	
(1) CIMAC WG 7「燃料」での議論(ISOを含む)の概要	竹田 充志(日本油化)
(2) SMM 時情報; CIMAC CIRCLE(CIMAC 主催パネル討論会)の情報 他	山田 知夫(日内連) 高崎 講二(九州大)
2. 2ストローク機関	
(1) 環境対応の船用主機関に関する最新技術 (10:00~10:45)	三柳 晃洋(ジャパンエンジン)
(2) SMM(ハンブルグ国際海事展)における WinGD 紹介技術 (10:45~11:30)	大窪 範夫(Win GD Japan)
昼休み(コーヒー・ジュースを準備) (11:30~12:30)	
(2ストローク機関の続き)	
(3) 環境規制に伴う代替燃料の現状と今後の動向 (12:30~13:15) (LNG、エタン、メタノール、LPG、今後のアンモニア、バイオ燃料)	杉浦 公彦(MAN E.S. Japan)
3. 4ストローク機関	
(1) ニイガタにおける環境規制対応技術の取組み (13:15 ~ 14:00)	永澤 秀明(新潟原動機)
(2) 環境対応技術と新商品の紹介 (14:00 ~ 14:45)	浅井 志郎(ダイハツディーゼル)
休憩 (coffee break 14:45 ~15:05)	
(4ストローク機関の続き)	
(3) 次世代船動力を見据えたヤンマー船用ガスエンジンと水素燃料電池 の技術開発(15:05 ~ 15:50)	平岩 琢也(ヤンマー)
4. 過給機 (15:50 ~16:35)	
(1) 市場ニーズに対応する新型過給機の紹介	伊藤 仁一(三菱重工業マリンシナリ)
閉会の辞 (16:35~16:40)	日内連

プログラム・演題は都合により予告無く変更されることがあります

(お願い事項)

CD 内の講演資料から無断での流用をされないよう、お願いいたします。

講師の方々の現職

講演番号

- 1-(1) 竹田 充志 氏: 日本油化工業(株) 横浜工場所長代理 兼
たけだ あつし 技術研究所開発技術課長兼企画チーム課長
CIMAC WG7(FUELS)国内対応委員会主査
- 1-(2) 山田 知夫 氏: 日本内燃機関連合会 専務理事
やまだ ともお
高崎 講二 氏: 九州大学 名誉教授
たかさき こうじ
- 2-(1) 三柳 晃洋 氏: (株)ジャパンエンジンコーポレーション
みやなぎ あきひろ 開発部 担当部長
- 2-(2) 大窪 範夫 氏: ウィンターツールガスアンドディーゼルジャパン(株)
おおくぼ のりお テクニカルサポートマネージャージャパン オペレーションズ
- 2-(3) 杉浦 公彦 氏: マンエナジーソリューションズ日本(株) 代表取締役社長
すぎうら きみひこ
- 3-(1) 永澤 秀明 氏: 新潟原動機(株) 技術センター 製品開発グループ グループ長
ながさわ ひであき
- 3-(2) 浅井 志郎氏: ダイハツディーゼル(株)
あさい しろう 技術統括本部 技術企画グループ
- 3-(3) 平岩 琢也 氏: ヤンマー(株) エンジン事業本部 特機エンジン統括部
ひらいわ たくや 開発部 システム開発部 船用第二グループ 基本設計グループ 主任
- 4-(1) 伊藤 仁一 氏: 三菱重工マリンマシナリ(株)
いとう よしかず 過給機事業部 設計課 主任